



“讃”平和を讃えて

広島交響楽団

第408回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 408th Subscription Concert

指揮
下野竜也
Conductor
Tatsuya Shimono

チェロ
マーティン・スタンツェライト
Violoncello
Martin Stanzeleit

©Naoya Yamaguchi

2021.2.10(水)

18:45開演〔17:45開場〕

Wed Feb 10, 2021 Start 18:45〔Open 17:45〕

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広警事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/会員先行発売1月6日(水)(9:00~広警事務局のみ)一般販売1月12日(火)

芥川也寸志:弦楽のためのトリプティーク

Yasushi Akutagawa: Triptyque for String Orchestra

フリードリヒ・グルダ:チェロとブラス・オーケストラのための協奏曲

Friedrich Gulda: Konzert für Violoncello und Blasorchester

ストラヴィンスキー:バレエ音楽「ペトルーシカ」(1947年版)

Stravinsky: pétrouchka (1947 Edition) ピアノ:野田清隆 Piano: Kiyotaka Noda

※当初予定のプログラムから曲目、出演者が変更となっております。

コンサートマスター:佐久間聡一

Concertmaster: Soichi Sakuma

プレイガイド

ローソンチケット(Lコード:62802)・チケットぴあ(Pコード:175-006)・広警事務局

主 催 | 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助 成 |



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛 | セントラルシティ 西広島開発株式会社

後 援 | 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※当公演では一部の席を除いて全席販売いたします。

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。



広警公式ホームページ▶



お問い合わせ

広警事務局 TEL:082-532-3080

HP: <http://hirokyo.or.jp>

期待していたクニャーゼフの来日が叶わなくなり、シュニトケの協奏曲も演奏されないことになってしまったが、その代わりの曲というのが驚きの選曲である。フリードリヒ・グルダのチェロとブラス・オーケストラのための協奏曲とは！ブラスバンドの伴奏を背景にドラムセットやベース、ギターが加わりロックやジャズの要素を取り入れた奇想天外の協奏曲の独奏に広響首席のマーティン・スタンツェライトが名乗りをあげた。聞くとところによるとこの曲の初演を行い、献呈を受けたのがハインリヒ・シフで、マーティン・スタンツェライトの師にあたるという。そして下野はすでにこの協奏曲を他のオーケストラで指揮を行っている。下野・広響の懐の深さは底が知れない。



[指揮] 下野 竜也 Conductor / Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)。

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内では、定期的にNHK交響楽団定期公演に招かれる他、国内主要オーケストラに客演し、コンサート、放送などに登場している。また、国外ではコンクール優勝後、ローマサンタチェチリア管、ミラノ・ヴェルディ響、チェコフィル、プラハフィル、シュツットガルト放送響、南西ドイツ交響楽団、オーストリア室内管、ボルドー・アデキヌ管、ロワール管、コートダジュール・カンヌ管、ストラスブル管、クラコフフィル、シンフォニア・ヴァルソビア、バルセロナ響などを指揮。

これまでに、読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月~2013年3月)、同団首席客演指揮者(2013年4月~2017年3月)、京都市交響楽団常任客演指揮者(2014年4月~2017年3月)、同団常任首席客演指揮者(2017年4月~2020年3月)を歴任。2011年1月、広島ウインドオーケストラの音楽監督に就任し現在に至る。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

NHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



[チェロ] マーティン・スタンツェライト Violoncello / Martin Stanzeleit

ドイツ出身。5歳よりチェロを始める。エッセン国立音楽大学でヤンチャン・チョウ氏に師事。同大学を首席で卒業。その後、ソリストコースでクリストフ・リヒター氏のもとで学ぶほか、ジークフリート・パルム、ハインリヒ・シフ、ヤーノシュ・シュタルケルの各氏に師事。デンマーク王立歌劇場に入団。コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団にチェロ首席奏者として招聘される。1998年より、広島交響楽団の首席チェロ奏者に就任。広島交響楽団や全国各地のオーケストラなどとソリストとして共演するほか、客演首席奏者としての招聘も多い。室内楽奏者としても幅広く活躍している。2011年、地域の文化活動の発展に功績があったとして、財団法人 けんしん育英文化振興財団より、県民文化奨励賞受賞。

CDは2011年に「ラフマニノフ+ブリッジ チェロソナタ」がオクタヴィア・レコードより発売されたほか、「Live in Karuizawa」、チェロ・ロックバンド「カンターナ」のデビューアルバム「Cellmate」、自身が作曲まで手掛けた2ndミニアルバム「A Minor Attitude」をそれぞれリリース。好評を博す。

使用楽器は1691年製フランチェスコ・ルジェーリ。

広響の新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱と比べ高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。



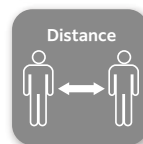
会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内での不要な会話はお控えいただき、演奏後の「ブラボー」などのお声がけもおやめください。



入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただようお願いいたします。